



日本洋書協会

JAPAN ASSOCIATION OF INTERNATIONAL PUBLICATIONS

February 2017
REPORT MAGAZINE

会報誌 | vol. 51 no. 2

Published by JAIP 1-1-13-4F, Kanda-Jimbocho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0051

e-mail:office@jaip.jp

理事会報告 2017年2月15日(水)

出席：(敬称略)相澤、松村、細谷、小松崎、鶴、深町(総務委員長・事務局)

1. 予算状況

ほぼ予算通りに推移しているとして了承された。

2. 委員会報告

・総務

セミナー等の企画があり、21日の総務委員会で検討する。他に前に行って好評だった「国会図書館見学会」「成田空港バックヤード見学会」なども併せて検討するよう意見があった。

・メディア・広報

会報2月号は編集中。そろそろダイレクトリー2017版の準備に入る。特に表紙の公募は徹底したい。会員データ部分の修正依頼の際に依頼する。これに対し、絵画、イラスト

トにこだわらずに、写真でも良ければ応募数は増えるとの意見があった。

・文化・厚生

3月に予定したボウリング大会はメンバーの多忙により、4月に延期する。ラフティングは5月辺りで検討する。

二世の会(仮称)は参加出来る方から広めていく。早急に1回目を行いたい。

・事業

今年のTIBFの日程が決まっていないのが不安。

3. その他

5月の連休に「上野の森親子フェスタ」というイベントがあり、児童書の特価販売が有る。親子連れには好評。

今回は4月上旬に今期決算の討議を中心に行う。

役員選挙結果発表

役員選挙の開票が2月17日にMHM会議室で行われ、以下の通りとなった。

開票結果(カッコ内は会員代表者)

【理事】(5名)

当選	丸善雄松堂(株)(仲 光男)	26票
	(株)MHM (マーク・グレシャム)	21票
	ユサコ(株) (山川 真一)	21票
	ビューローホソヤ(細谷 愛子)	18票
	(株)東亜ブック(鶴 竜次)	17票
次点	(株)南江堂	12票

【監事】(2名)

当選	(株)極東書店(相澤 久俊)	14票
	センゲージラーニング(株)(松村 達生)	7票
次点	ビューローホソヤ	6票

選挙管理委員会

委員長：長谷 整	[ワイリー・ジャパン(株)]
委員：伊藤 道一	[(株)イタリア書房]
	上島 和彦 [(株)教文館]
	木原 健策 [東京洋(株)]
	鈴木 修 [(株)三省堂書店]
	藤野 寿也 [ワイリー・ジャパン(株)]
事務局：正田 実	

投票率は83%でした。

海外ニュース

トランプ大統領が読むべき本のリスト

ライター: Sarah M. Broom

トランプ大統領は本を読まないことを自慢している。2016年の初めに好きな本を聞かれて、『西部戦線異状なし』をあげていたが、最近の本では?とさらに突っ込まれて、「この部分だけ、この章だけ、しか読まないんだ。時間がないんでね」と返していた。そういうわけで、トランプ大統領のための読むべき本のリストを作ろうと思いついたのだ。彼に対する、自分のなかの大いなる不信感はひとまずおいて、読むはずがないというあきらめにも似た不安にあらがひ、もしかしたら、ちらっとでも本を開いてくれるかもしれないという希望を込めて。だって、もし本が未知の世界を教えてくれたり、考え方を教えてくれたりしないのだとしたら、どうして私はものを書くなんていう苦しい仕事をしているんだろう?

このリストにあげた本を、トランプ大統領の金ぴかのドアの下からすべりこませたい。そうすれば彼も、自分の狭い料簡で人を判断するのをやめて、人の気持ちというものを考えるようになるかもしれない。

『イソップ寓話集』 Aesop's Fables

私はイソップ童話を読んで育った。ライオン、キツネ、オオカミ、漁師などの登場するこの寓話集には、偉大な教訓がふくまれている。「声の大きなケンカほどくだらないケンカ」とか「人はよく悪評を名声とかんちがいする」等々。

『わが母の伝記』 The Autobiography of My Mother ジャメイカ・キンケイド

「わたしの母はわたしが生まれたときに死んだ。だから、あの世は常にわたしにとって親しいものだった。いつも背後に、荒涼とした漆黒の風が吹いている。」という出だしでこの小説ははじまる。死んでしまった不在の親と、家族のトラウマの心揺さぶられる記憶の物語は、ぜひともだれかさんに読んでもらいたい。家族の歴史が、認めたくなくとも、いかに自分の生き方に影響を与えているかを、一度よく考えるべきだ。

『ブラックパンサー 第1巻』 (コミック) Black Panther #1

コミック雑誌『マーベル』に掲載された第1回目は、すばらしくゴージャスだった。架空の王国ワカンダは、私腹を肥やすことしか考えない連中に蹂躪され続け、ついに崩壊の危機に直面していた。これはそのワカンダ国の王の物語である。権力と、国家・国民・歴史・伝統の重要性について、『ブラックパンサー』は、現在の私たちのいる世界とは別の、ありえたかもしれないもう一つの世界を見せてくれる、そして啓示も。

『贖罪の十字架』 The Cross of Redemption ジェイムズ・ボールドウィン

このリストで、ジェイムズ・ボールドウインをはずすことはできない。この本の中で、ボールドウインは、「道徳の衰退」について、アメリカ人であるとはどういうことかという問いに固有の問題だとしている。

『閉じ込められて: ドロシア・ラングと発禁処分になった日系アメリカ人強制収容所の写真集』 Impounded: Dorothea Lange and the Censored Images of Japanese American Internment

連邦政府の命令で、日系人を強制収容したアメリカの恥ずべき行いを写したラングの写真は、検閲で発禁処分になり、2006年まで非公開の扱いを受けていた。1920年の労働ストライキ後、「白人種に対抗して、世界中のあらゆる有色人種を一つにまとめようというのが、日本の究極の狙いだ」という連邦捜査局の勝手な決めつけと、その十年後の、「面倒なことがおこったら、まっさきに強制収容所に入れる人間の特別なリスト」を作ろうと言ったフランクリン・D・ルーズベルトの決定は、最近のイスラム教徒の登録義務や大量の強制送還などの話と、どこか遠くで響きあっている。

『ポリティカル・フィクション』 Political Fictions ジョーン・ディデオ

このエッセイ集は、アメリカの政治過程を取り巻く神話をぶち壊す。その神話とは、ディデオ曰く、「公人の物語をたえずでっちあげている、ほんの一握りの内部

の者たち」のためにあるものなのだ。ディディオンの本は15年前に出版されたものだが、気味が悪いくらい未来を予言している。

『Racecraft: The Soul of Inequality in American Life』

この本は、今までで一番明確な人種差別の定義を示してくれた。それは「ダブルスタンダードの実践」。アメリカでは批判的思考や科学的事実のかわりに、魔術（witchcraft）のように、“人種”を利用することで信頼したりともに助け合ったりしている点を指摘して、著者たちは、私たちがなぜ、どのようにして「アメリカのracecraftのトワイライトゾーン」に落ちてしまったのか、と問うている。

『移民たち』The Emigrants' W.G. ゼーバルド

個人的な物語を通して——移民に際して高い代償を払った四人のドイツ人の姿——ゼーバルドは故郷を離れる現実について、とても大事なことを述べている。そして、私たちアメリカ人にあることを思い出させてくれる。私たちは、やむを得ず故郷を離れて、あるいは奴隷として無理やりここに移り住んできた移民たちの子孫である、ということ。

『もう半分は決して語られなかった：奴隷制とアメリカ資本主義の創造』

The Half Has Never Been Told: Slavery and the Making of American Capitalism

彼の名前のついたホテルを建設してくれた、まさにそういう人々を嬉々としておとしめるようなことをしている大統領にこそ読んでほしい。本書は、黒人奴隷の労働力がいかにアメリカの発展と近代化を可能にしてきたか、というしばしば見過ごされがちな事実を教えてくれる。

『家族の概念』The Notion of Family ラトーヤ・ルビー・フレイジャー

これらの写真は、フレイジャーの、自称「スコットランドと、アフリカと、ブラドックのブルーカラーの製鉄業労働者の子孫」である人生と、その家族、そして彼女の生まれ育った町、ペンシルバニア州ブラドック、1875年にアンドリュウ・カーネギーが最初の製鉄所をたてた町について雄弁に物語っている。家族はいまだに町の経済と環境の破たんにあたえている。工業化のリアルな影響をとらえた優れた物語である。

(Elle Online, December 19, 2016より抄訳)

情報提供：MHM 遠藤尚子

2017年新年賀詞交歓会

今今年の新年賀詞交歓会は1月6日（金）に国際文化会館本館宴会場（港区六本木）にて、会員32社68名の方にご参加いただき盛大に行われました。午後6時すぎより、文化厚生委員長の鶴氏の開会の挨拶で始まり、理事長の相澤氏（極東書店）より乾杯のご挨拶をいただきパーティーが始まりました。年始のご挨拶にはじまり、たくさんの美味しい料理と多種にわたるドリンクを楽しみつつ、参加者の皆様の会話もはずんでいっしゃいました。パーティー中盤を過ぎた頃、新規会員のクロニクル・ジャパンの加藤氏、MHMのグレシャム氏よりご挨拶を頂きました。中締めには松村氏（センゲージラーニング）の一本締めで8時過ぎに閉会となりました。



この新しい年がより佳き年になるよう心より祈念致します。

(YK 記)

我が社・わが街

第8回 赤坂

トムソン・ロイターLegal事業部

深町 恒之

私が赤坂にあるトムソン・ロイターで働き始めてから、4年半が経ちました。それ以前は竹橋、その前は愛宕と、2010年に入社以来オフィスを転々としてきましたが、今では赤坂が一番勤務期間の長い場所になっています。とはいえ、昨年12月にこれまでオフィスが入っていた赤坂パークビルから、赤坂 Biz タワーに、同じ赤坂内ながら移転しています。弊社にお越しの際は、ご留意いただければ幸いです。

また、トムソン・ロイターと赤坂との関わりについても触れますと、2008年に旧ロイター・ジャパン(株)がそれまでオフィスがあった神谷町から赤坂に移ってきて以来、拠点を持っています。その後、旧ロイターが旧トムソンに買収されて、今のトムソン・ロイターが生まれたわけですが、私の所属するリーガル事業部は、旧トムソン側の一部門として、出版事業のほかに、法律系データベース、その他法律系サービスを提供しておりますこと、念のためこの場を借りてお伝えします。

さて、本題の赤坂の街の話題に移りたいと思います。ほとんどの方は一度はいらしたことがある場所かと推測しますが、どのようなイメージをお持ちでしょうか。飲食街、歓楽街、TBS、赤坂御用地、高級料亭、オフィスビズ、国際的などなど、こうして改まって考えてみると、赤坂は多様性に満ちているようです。

赤坂の周囲は、六本木、虎ノ門、永田町、四ッ谷、青山といった地区に隣接しています。ハイソな四ッ谷や青山から、政治の永田町、特殊法人の多い虎ノ門、そして繁華街(& オフィス)の六本木。

これだけ特色の異なる個性が強い地区に囲まれていれば、多様性に溢れた場所になるのも合点がいくというものです。

政治家や官僚が料亭へ行き、TBSに出演した芸能人が高級レストランへ、欧米企業や大使館の外国人駐在員が西洋風パブへ行く。

かなり大ざっぱですが、そのような役割が赤坂にはあるように感じています。

また、赤坂で働いてから知りましたが、1960～70年代に流行したキャバレーの有名店が赤坂にあったそうで、当時世界一のキャバレーと言われた「ミカド」や、

力道山の刺傷事件としても知られた「ニューラテンクォーター」は、その頃の記憶をお持ちの方にとっては、赤坂のイメージの一つになっているのではと想像します。今や昔のことですが、その当時の様子をメディアから知るにつれて、今の時代になく豪華絢爛な世界が赤坂に存在したようです。「ニューラテンクォーター」では、当時世界一流のルイ・アームストロングやダイアナ・ロスといった歌手の歌声を間近に聴きながら、上品なホステスにお酒を注いでもらい、同伴者と上質なひとときを楽しむ。そして周りを見渡せば、そこには皇族や一流財界人、政治家、芸能人が、...とても夢のある世界ですね。和の料亭と洋のキャバレー、双方の最高峰を兼ね備えていたのが赤坂という街だったのかもしれない。

最後に、グッと話題を身近なものにしましょう。メディアで映し出される赤坂と言えば、TBSの「オールスター感謝祭」で目玉コーナーになっている「赤坂5丁目ミニマラソン」を思い浮かべる方もいらっしゃるかと思います。赤坂パークビルに勤務していた頃は、毎日あの「心臓破りの坂」横の階段を登って、息を切らしていました。あのマラソンコースは、全てTBS所有(と思われる)の私道で行われているのをご存知ですか? コースで使用されている、赤坂サカス裏の桜の並木道は誰でも歩行することができ、桜の時期は車通りのほとんどない道をゆったり歩いてお花を鑑賞いただけますよ(画像参照)。赤坂の穴場を洋書協会の皆様にお伝えして、筆を置かせていただきます。



赤坂サカス裏桜並木道

THE UNIVERSITY OF CHICAGO PRESS



The Works of Giuseppe Verdi, Series I: Operas

I due Foscari

Tragedia Lirica In Three Acts

Edited By Andreas Giger



I due Foscari enjoys pride of place among Verdi's early operas for its commanding music and striking use of recurring themes to identify the principal characters. Here, the young composer can be seen experimenting with new means of musical and dramatic expression.

May 2017
670 pages
Hardcover, 2 vols, boxed set
9780226074511
¥37,470 (税抜)

This critical edition, based on Verdi's autograph score and autograph corrections in the first manuscript copy, offers the full score—including powerful passages later excised by Roman censors and appendices containing sketches, fragments, rejected passages, and a substitute cabaletta for Jacopo's cavatina.

Other titles in *The Works of Giuseppe Verdi, Series 1*

Attila	2013	Hardback, 2 vol set	9780226853321	¥37,590
Giovanna d'Arco	2009	Hardback, 2 vol set	9780226853307	¥43,820
Macbeth	2006	Hardback, 3 vol set	9780226853208	¥67,820
Stiffelio	2003	Hardback, 2 vol set	9780226853192	¥43,940
I Masdanieri	2000	Hardback, 3 vol set	9780226853185	¥67,820
Il Corsaro	1999	Hardback, 2 vol set	9780226853178	¥51,050
La Traviata	1997	Hardback, 2 vol set	9780226853161	¥63,500
Alzira	1995	Hardback, 2 vol set	9780226853147	¥54,990
Luisa Miller	1991	Hardback, 2 vol set	9780226853123	¥63,500
Nabucodonosor	1988	Hardback, 2 vol set	9780226853109	¥67,820
Ernani	1985	Hardback, 2 vol set	9780226853079	¥59,440
Rigoletto	1983	Hardback, 2 vol set	9780226853062	¥51,310

◇価格は税別で、版元の価格改定や為替相場の変動等により変わる場合があります。



www.mhmlimited.co.jp

1-1-13-4F Kanda Jimbocho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0051

Tel: 03-3518-9181 Fax: 03-3518-9523

RENAISSANCE BOOKS

**満州史 1840～1948年：
中国、ロシア、日本の三角関係 全2巻**

The History of Manchuria 1840–1948: A Sino-Russo-Japanese Triangle

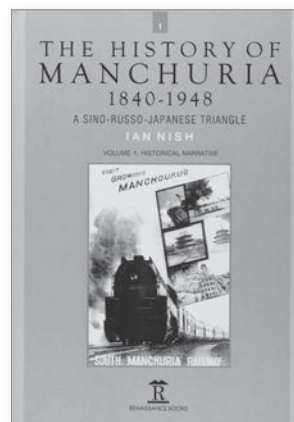
2 volume set

Edited by **Ian Nish**

In ten extended chapters, supported by a wide selection of contemporary documents, Ian Nish provides an important new account and assessment of the turbulent times suffered by the three north-eastern provinces of China, generally called 'Manchuria', in the course of the last two centuries. The territory rarely enjoyed peace (three major wars were fought on its soil in 1894, 1904 and 1919), although its economy progressed as a result of the building of arterial railways. From 1932, it also had an important role in world affairs when the short-lived state of Manchukuo was declared by the Japanese Government—subsequently brought to an end by the punitive occupation of the country by Soviet forces in 1945. Thereafter, the devastated country was fought over in a brutal civil war by Chinese Nationalist and Communist armies until Mukden (Shenyang) fell to the Communists in October 1948.

イアン・ニッシュは同時代の幅広い記録をもとに、一般に満州と呼ばれる中国東北部の三省が経験した近代2世紀にわたる動乱の時代を、各巻10章の構成で、新しく重要な視点から説明し、評価を加えています。この地域が平和を享受したことは稀でしたが（1894年、1904年、1919年には3つの大規模な戦争がこの地で戦われています）、幹線鉄道工事の結果として経済的には発展しました。1932年以降、日本が満州国を作ったことで世界情勢の中で重要な役割を果たしました。満州国は1945年にソビエトの過酷な占領下に置かれることによりその短命を終えましたが、その後は、1948年10月に奉天（瀋陽市）が共産党の手に落ちるまで中国国民党と共産党の軍隊の間で厳しい内戦の舞台となりました。

Contents: Volume I: Historical Narrative; Volume II: Documents.



April 2016
736 pages

Hardback
9781898823421
£195.00

MHMM

www.mhmlimited.co.jp

1-1-13-4F Kanda Jimbocho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0051

Tel: 03-3518-9181 Fax: 03-3518-9523

日本洋書協会会報 vol.52 No.2(通算545号) 発行日2017年2月1日 編集者 松野 夏生

発行所 日本洋書協会 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-13 (株)MHMM内 TEL 03-3518-9631 FAX 03-3518-9523

URL: <http://www.jaip.jp> E-mail: office@jaip.jp